

重点事業④ 燃えるごみの減量

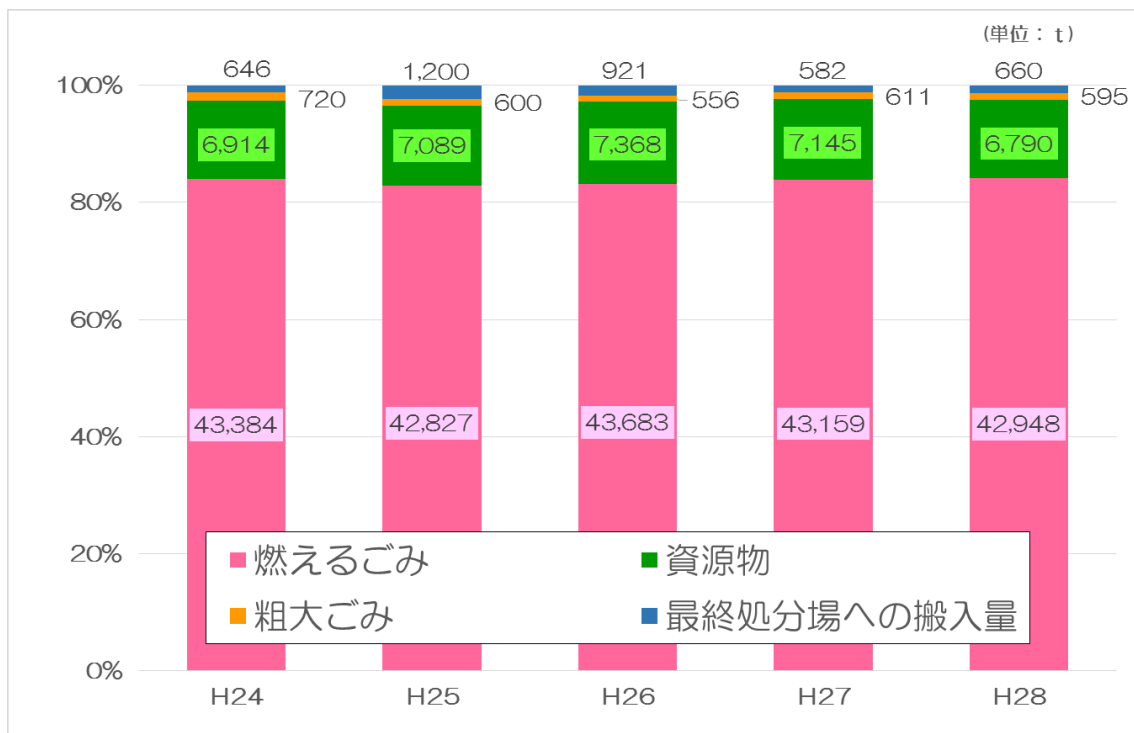
1. 概況

平成 22 年に策定した「伊勢市ごみ処理基本計画」に基づき、3R（ごみの減量と資源化）の推進を市民・地域組織、行政、事業者の 3 者による協働で進めてきました。

本市として、資源物の適正分別排出、生ごみ処理機の利用や水切りによる減量化などを中心とした施策を行ってきました。

世界的な動きとしては、伊勢志摩サミットを挟んで国連にて採択した SDGS（エスディージーズ：持続可能な開発目標）を実現するため、国においても“食品廃棄物”削減対策に動き出しています。

伊勢市においても、福井県が提唱しスタートした“全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会”（47 都道府県、317 自治体参加）に平成 28 年度から参加し、全国的な取組みを開始しました。



(図 1 ごみ排出量の推移)

2. 取組状況

(1) 生ごみ処理機を利用した生ごみの堆肥化、減量化の支援

生ごみの自家処理を促進し、ごみの減量化を図ることを目的に、生ごみ処理機を購入及び設置した方へ、補助金を交付しました。

【平成 28 年度：申請 85 件、交付台数 88 基】

(2) 再生資源回収事業奨励金

ごみの減量化を促進し、資源の再生化を図るとともに、ごみに対する市民の意識を高めることを目的に、自治会・PTA等再生資源の回収を行う団体に対し、奨励金の交付を行いました。

【平成 28 年度：交付団体数、146 団体。回収量（紙・布類、缶・金属類）、2,221,252 k g】

(3) ごみ分別ガイドブックの作成

家庭から出るごみの分別方法や資源物の出し方などをまとめた「ごみ分別ガイドブック」を作成し、広報誌と同時配布を行いました。

【平成 28 年度：65,000 部】

(4) ごみの分別等についての説明会の実施

希望する団体を対象に伊勢市のごみの現状及びごみの仕分け方・出し方について、説明会を行った

【H28 実績：45 回開催、延べ 1,224 人参加】

3. 今後の取組み方針

平成 29 年度から、伊勢広域環境組合において次期焼却施設の更新について検討を開始しました。伊勢市についても、更新時期の正確なごみ量を予測する必要性が生じたことから、ごみ処理基本計画についても現在見直しを行っています。

なお、平成 29 年度のごみ処理基本計画の処理実施計画のうち、①啓発強化対策②食品ロス対策への啓発について③資源混入物対策（雑がみ類）などの施策について、具体化を行っていきます。